

研究協力のお願

昭和大学歯科病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆さま方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

口唇口蓋裂患者における顎裂部骨移植の術後成績および顎発育に関する研究

1. 研究の対象および研究対象期間

1980年1月1日から2024年3月31日までの当矯正歯科にて検査を受けられた患者さん

2. 研究目的・方法

口唇口蓋裂は、顎顔面頭蓋領域に発現する先天疾患の中でも頻度が高く、成長発育中に生じる不正咬合や咀嚼障害を診断し適切な治療法・治療時期を決定するには、頭蓋顎顔面骨の成長にともなった変化を詳細に把握することが必要です。さらに、顎裂部骨移植の成績が術後の矯正治療に大きく影響します。

そこで、本研究は昭和大学歯科病院歯科矯正学講座を受診した口唇蓋裂患者の治療過程で記録したレントゲン・写真・石膏模型の三次元デジタル模型等を用い、就学前および犬歯萌出期に顎裂部骨移植を行った患者の初診時・Ⅱ期治療開始時の顎裂部骨移植の治療成績と顎発育の結果をもとに、患者個々に対する治療方法・方針の差異による顎顔面領域の成長量の差異を評価します。

以上より、今後の口唇口蓋裂治療の発展に寄与することを目的とします。

研究期間

昭和大学歯科病院臨床試験審査委員会承認後、病院長の研究実施許可後2025年12月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録内の治療にかかわる全ての記載、顔貌写真、口腔内写真、CTデータ、パノラマX線、セファロX線、デンタルX線、オクルーザルX線写真、石膏模型の三次元デジタル模型等。

なお、個人情報の保護のため、診療情報はすべて個人を識別できる情報（氏名、住所、生年月日、電話番号など）を削除し独自の記号を付して取り扱い、研究成果を学会や論文で発表する際も個人情報を出すことはありません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

所属：昭和大学歯科病院（歯学部歯科矯正学講座） 氏名：吉田 寛

住所：145-8515 東京都大田区北千束 2-1-1 電話番号：03-3787-1151(内線 262)